

受付番号	64		
許可番号	大歯医倫 第 111090 号		
研究課題名	口腔上皮性異形成および口腔上皮内癌の分類の統一化を目指した臨床病理学的研究		
研究責任者	辻 要	申請者	北吉 麻理奈
研究終了日	2023 年 3 月 31 日		
所 属	口腔外科学第一講座	所 属	歯学研究科 口腔外科学専攻
職 名	助教	職 名	大学院 1 年生

申請の概要

現在、口腔粘膜の上皮性異形成・上皮内癌の分類は、2017 年 WHO 頭頸部腫瘍分類と日本口腔腫瘍学会『口腔癌取扱い規約 第 2 版』（2019）および日本頭頸部癌学会『頭頸部癌取扱い規約 第 6 版補訂版』（2019）にてそれぞれ 3 分類法もしくは 2 分類法に分類されており、それぞれによりその分類方法が異なる。また、施設により用いる分類方法も様々であり、病理組織学的診断基準が異なっているのが現状である。分類が統一されていない理由として、明確な診断基準が示されておらず、診断医によって診断が異なることもあるからである。これまでにそれらを明確にすべく、口腔上皮性異形成や口腔上皮内癌におけるサイトケラチン（CK）をはじめとする関連因子の検索が行われており、それらの関連因子と口腔上皮性異形成および口腔上皮内癌との相関関係が報告されているが、明確な診断基準には至っていない。

そこで本研究では、口腔上皮性異形成および口腔上皮内癌の診断基準になる指標の検索を目的とし、過去に生検および手術にて得られた組織の病理組織学的診断で口腔上皮性異形成および口腔上皮内癌と診断された検体を再分類し、選別し

た 60 例を対象とする。それらの検体に対し CK13・17、Ki-67、p53、ポリクローナル抗体やアポトーシス関連因子である bcl-2、Bax やその他の因子に関して免疫組織化学染色にて検索を行う。

本研究により分類可能な指標が明らかになれば、分類の統一による治療方針の標準化に寄与することが期待される。